

# 英語科シラバス（第2学年）

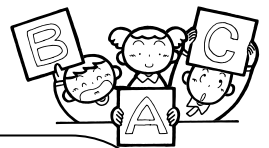
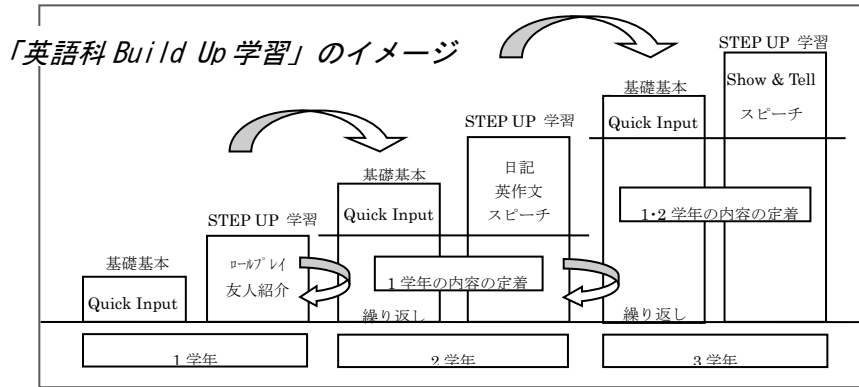
## 1. 基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・繰り返し学習である「Quick Input 活動」では基本文の定着を目指します。
- ・単語などの小テストの実施による基礎・基本の徹底を目指します。

観点	評価内容	評価方法
主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを話したり、つなぎ言葉を使って話を続けたりしようとしている。</li> <li>・間違いを恐れずに積極的に言語活動に取り組める。</li> <li>・積極的に音読し、わからないところは辞書を活用して読もうとしている。</li> <li>・知っている語句や表現を使って相手に英文を書いて伝えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話活動</li> <li>・クイックへの取り組み</li> <li>・挙手、発言</li> <li>・提出物等</li> </ul>
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を話したり書いたりすることができる。</li> <li>・場面や状況にふさわしい表現を用いて話したり、応答したりできる。</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・スピーチや作文</li> <li>・音読テスト</li> </ul>
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の考えや意見を聞いて理解することができる。</li> <li>・まとまりのある英文を読んで、あらすじやその内容を理解することができる。</li> <li>・英語の言語構造を理解し、正しい語順と文法で身につけている。</li> <li>・英語を使う上で必要な英語圏の生活習慣や文化的背景について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・リスニングテスト</li> <li>・長文読解</li> <li>・英単語テスト</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

## 2. 思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・「Quick Input 活動」や「My Project」などで、さらに実際に活用させる場面を作り応用力を高めていく「Step Up 学習」へと活動を広げていきます。
- ・「英語で絵日記を書こう」などの課題に取り組み、Quick Input 活動で定型文やたくさんの表現を学び、その表現を覚えて語句を置き換えることで、自分の意見や考え、経験を文章にしていくアウトプット活動につなげることで英語で表現することに慣れていきます。



## 3. 学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

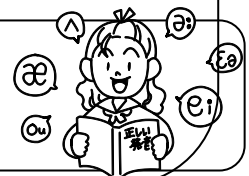
- ・「新授業六束」をしっかり守り、授業に臨む姿勢を育成します。
- ・ノートやワーク、Quick Input 等を活用し、家庭学習を習慣化できるようにします。
- ・授業で習った内容を定着させるため、毎時間、宿題を提示します。必ず家でやりましょう。

## 4. 2年生の目標

1年生で学んだ英語の基礎をふまえ、より多くの語句や文法項目を身につける。特に、教科書本文の意味がわかる（読むこと）、授業内の指示が英語で聞ける（聞くこと）、みんなの前で英文を発表する（話すこと）、自分の経験などを英文にできる（書くこと）、を目標とします。

## 5. 使用教材と持ち物「5点セット」

- 教科書 1冊
- ノート 2冊（授業用と練習用）
- ワーク
- ファイル 1冊（授業プリント用）
- 辞書（必要な人は）



## 6. 授業について

- 休み時間のうちに授業の用意をしましょう。
- 宿題を必ず行いましょう。
- A L T (外国人の先生) が来た時には、積極的に会話に参加しましょう。
- 忘れ物をしたときには、授業前に先生に言いに来ましょう。
- 普段の授業でも、英語を使うことに慣れるために積極的に発言しましょう。
- 参加意欲や授業態度、単語テストや音読テストは評価に影響します。

## 7. 英語の学習法・ポイント

- 新しくでてきた単語・連語は全てしっかり覚え、書けるようにする。
- 授業中の発音、発言は大きな声でしっかりとする。
- 授業で習った内容はワークや宿題を活用して、その日のうちに復習する。
- 定期試験までに、学習している文法項目を整理して、まとめておく。
- “Quick Input” のシートを繰り返し読んで覚え、音読できるようにする。



## 8. 評価の観点と評価規準

### 評価と評定の関連

※評定(5段階)は、各観点の評価(A<sup>マル</sup>O=5点、A=4点、B=3点、C<sup>マル</sup>O=2点、C=1点)をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表(例)のとおりです。

各観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	評定
A <sup>マル</sup> O A <sup>マル</sup> O A <sup>マル</sup> O	15点	A <sup>マル</sup> O A <sup>マル</sup> O A	14点			5
A <sup>マル</sup> O A A	13点	A A A	12点	A <sup>マル</sup> O B B	11点	4
A B B	10点	B B B	9点	B B C <sup>マル</sup> O	8点	3
B C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O	7点	C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O	6点	C <sup>マル</sup> O C <sup>マル</sup> O C	5点	2
C <sup>マル</sup> O C C	4点	C C C	3点			1

## 9. 学習内容と評価のめあて

	月	学習単元	学習内容・文法項目	学習のねらい
1学期	4	Program 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来表現 be going to ~ / I will</li> <li>接続詞 when / 接続詞 if</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定や計画を言える。</li> <li>いつ何をするのか説明できる。条件の内容を言える。</li> </ul>
	5	Program 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 I think (that) ~</li> <li>助動詞 must / have to ~</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性について言える。自分の考えを表現することができる。</li> </ul>
	6	Program 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の3用法 (名詞的・形容詞的・副詞的)</li> <li>動名詞 I enjoy ~ing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のしたいことを言う。行動の目的を言う。~するため の表現でスピーチができる。</li> </ul>
	7	Our Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢の旅行を企画しよう。</li> <li>Reading Gon, the little fox.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文を読み、内容を理解することができる。</li> </ul>
2学期	8	Program 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較級( ~er ) / 最上級( the est )</li> <li>as ~ as / not as ~ as</li> <li>比較級( more ) / 最上級( the most )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つのものを比べる、3つ以上のものを比べる、同じ程度のものを比べる表現が使える。</li> <li>長い形容詞の比較級、最上級が使える。</li> </ul>
	9	Program 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>look + 形容詞</li> <li>give + 人 + もの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作について言う。様子・状態を言う。~に・・・をあげる の表現が使える。</li> </ul>
	10	Program 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>受動態 be + 過去分詞 + (by)</li> <li>Is known to~, are covered with</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受身の表現をもとに、自分の住んでいるところや印象的な景色を紹介する文章が書ける。</li> </ul>
	11 12	Our Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>こんな人になりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紀州事項を使い、自分の思いをスピーチで表現することができる。</li> </ul>
3学期	1	Program 7	Friendship beyond Time and Borders	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文を読み、内容を理解することができる。</li> </ul>
	2	Program 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形 have 3用法 (継続・経験・完了)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでにしてしまったことや、今ちょうどやり終えたことを言うことができる。</li> <li>これまでずっと続いていることについて言える。</li> <li>これまでに経験したことがあるかどうか言える。</li> </ul>
	3	Program 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了進行形 have been ~ing</li> <li>この1年で得た「宝もの」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去から現在もし続けていることについての表現が使える。</li> <li>まとまった量の手紙や物語を読み、内容を理解することができる。</li> </ul>